

シンポジウム19

脊椎圧迫骨折診療 Right time Right place Right Treatment 高齢者椎体骨折患者のベストプラクティス

日時	2026年9月12日(土) 10:30～12:00
会場	第2会場 (2F メインホールA)
座長	安竹 秀俊 (恵寿金沢病院 整形外科) 稲毛 一秀 (千葉大学大学院医学研究院 整形外科学)
単位	日本骨粗鬆症学会：認定医教育研修単位

セッション概要

骨粗鬆症性椎体骨折を診療所・二次救急・急性期病院・脊椎外科という各段階から取り上げ、早期診断と保存療法、地域連携パスによる二次性骨折予防、脊柱再建術や偽関節・遅発性麻痺への手術戦略までを通して最適な診療体制を検討する。

演題プログラム

- | | |
|----------|---|
| 2-SY19-1 | 1次医療（診療所）での椎体骨折患者管理
金谷 幸一（金谷整形外科せぼね・骨粗しょう症クリニック）
診療所での椎体骨折の診断手順と、コルセット装着や段階的な安静度拡大による保存療法の実際、手術目的で紹介に至る条件を示す。 |
| 2-SY19-2 | 二次救急で「見逃さない・放置しない」椎体骨折診療 -地域連携含めたベストプラクティスの模索-
濱崎 貴彦（中国労災病院 整形外科）
二次救急での「高齢者急性腰痛の治療4か条」と呉市全急性期病院が参加する椎体骨折地域連携パスの取り組みを報告する。 |
| 2-SY19-3 | 椎体骨折後の二次性骨折予防 -骨折ドミノを断つために
小谷 俊明（聖隷佐倉市民病院 整形外科）
OLS多職種チームによる椎体骨折後の二次性骨折予防と、注射製剤導入から地域クリニックへ治療を継続する連携パスを示す。 |
| 2-SY19-4 | 骨粗鬆症性椎体骨折に対する脊柱矯正固定術—骨の弱い患者で手術を成功させる4つのポイント—
渡邊 慶（亀田第一病院 新潟脊椎外科センター）
脊柱再建術を成功させる固定性向上、前方後方解離、前方支柱再建、骨形成促進薬による骨質最適化の4戦略を解説する。 |
| 2-SY19-5 | 骨粗鬆症性椎体骨折後の偽関節と遅発性麻痺に対する手術治療
宮腰 尚久（秋田大学大学院 整形外科学講座）
偽関節と麻痺に対する前方支柱再建として、LLIF併用のX-COREによる椎体置換術と後方進入のPAVRECを解説する。 |